

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3763149号

(P3763149)

(45) 発行日 平成18年4月5日(2006.4.5)

(24) 登録日 平成18年1月27日(2006.1.27)

(51) Int. Cl.

A63F 7/02 (2006.01)

F I

A63F 7/02 326C

請求項の数 3 (全 7 頁)

(21) 出願番号	特願平7-174124	(73) 特許権者	000144522
(22) 出願日	平成7年6月16日(1995.6.16)		株式会社三洋物産
(65) 公開番号	特開平9-711		愛知県名古屋市千種区今池3丁目9番21号
(43) 公開日	平成9年1月7日(1997.1.7)	(74) 代理人	100098741
審査請求日	平成14年6月17日(2002.6.17)		弁理士 武蔵 武
		(72) 発明者	坂本 秀男
			愛知県名古屋市千種区春岡通7丁目49番地 株式会社ジェイ・ティ内
		審査官	吉村 尚

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 パチンコ機

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

枠体として形成された外枠と、
 該外枠に回動可能に取り付けられた前枠と、
 該前枠に取り付けられた遊技板ユニットとを備え、
 その遊技板ユニットは正面側にガイドレールで形成されパチンコ球が流下可能な遊技領域を有し、

前記遊技領域に複数の入賞口とパチンコ球の流下方向を変化させる複数の障害釘を設けたパチンコ機において、

前記遊技板ユニットは、

前記遊技領域の略全域を透明樹脂により構成すると共に、

遊技板ユニットの後方を視認不能とする非透明領域を形成する非透明樹脂を前記透明樹脂の裏面に備え、該非透明樹脂に配線用溝、入賞球集合カバーの取付台、或いは入賞球の案内樋を一体的に成形し、

該遊技板ユニットの裏面側に遊技に用いる数字や図柄を可変表示する遊技用表示パネルを設置して前記透明樹脂を介し図柄等を視認可能に構成した視認可透明領域の表面に複数の障害釘を設け、

前記入賞口に入るパチンコ球が遊技板ユニットの非透明領域の裏側を流れるようにしたことを特徴とするパチンコ機。

【請求項2】

10

20

前記遊技板ユニットを構成する透明樹脂及び非透明樹脂は、遊技板ユニットの前後方向に貫通する通孔を有し、前記入賞口に入賞したパチンコ球は通孔内を通過することにより遊技板ユニット前面側から裏面側へ排出されるものであり、前記非透明領域はその裏面側に排出されたパチンコ球を視認不能とすることを特徴とする請求項1記載のパチンコ機。

【請求項3】

前記遊技板ユニットを構成する透明樹脂及び非透明樹脂は、遊技板ユニットの前後方向に貫通する通孔を有し、遊技領域のアウト球口を通過したパチンコ球は通孔内を通過することにより遊技板ユニット前面側から裏面側へ排出されるものであり、前記非透明領域はその裏面側に排出されたパチンコ球を視認不能とすることを特徴とする請求項1又は2記載のパチンコ機。

10

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本発明は、パチンコ機に装着される遊技板ユニットに関する。

【0002】

【従来の技術】

遊技板1には通常、図6に示したように、液晶やLEDなどで構成される遊技用表示パネル2を内蔵した変動表示装置3や、複数の入賞口4、4…が取着され、また、障害釘5、5…や風車6、6…などが適宜打ち込まれている。該遊技板1は、前枠7の裏側に設けた遊技板取付枠に着脱自在に取り付けられていて、複数台のパチンコ機P、P…間で定期的に入れ替えたり、或いは、新しいものと交換される。

20

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

上記変動表示装置3は、前面（表示面）にパチンコ球の流路が作れないため、上部に庇状の凸部3aを突設してパチンコ球を左右に振り分ける構造になっている。従って、遊技領域1aには変動表示装置3の両サイドにパチンコ球の流路Rを確保する必要がある、それが変動表示装置3の表示サイズを大型化するための障害になっていた。

【0004】

本発明は上記に鑑みなされたもので、その目的は、遊技用表示パネルを最大で遊技領域一杯にまで拡張可能にしたパチンコ機を提供することにある。

30

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するため本発明は、枠体として形成された外枠と、該外枠に回動可能に取り付けられた前枠と、該前枠に取り付けられた遊技板ユニットとを備え、その遊技板ユニットは正面側にガイドレールで形成されパチンコ球が流下可能な遊技領域を有し、前記遊技領域に複数の入賞口とパチンコ球の流下方向を変化させる複数の障害釘を設けたパチンコ機において、前記遊技板ユニットは、前記遊技領域の略全域を透明樹脂により構成すると共に、遊技板ユニットの後方を視認不能とする非透明領域を形成する非透明樹脂を前記透明樹脂の裏面に備え、該非透明樹脂に配線用溝、入賞球集合カバーの取付台、或いは入賞球の案内樋を一体的に成形し、該遊技板ユニットの裏面側に遊技に用いる数字や図柄を可変表示する遊技用表示パネルを設置して前記透明樹脂を介し図柄等を視認可能に構成した視認可透明領域の表面に複数の障害釘を設け、前記入賞口に入るパチンコ球が遊技板ユニットの非透明領域の裏側を流れるようにしたパチンコ機を提供する。

40

【0006】

【作用】

透明領域の表面に複数の障害釘を打ち込むことにより遊技用表示パネルの前面にパチンコ球の流路が確保できる。従って、遊技用表示パネルの大型化が可能である。

【0007】

【実施例】

以下に本発明の実施例を図面を参照しつつ説明する。なお、図1はパチンコ機の横断平

50

面図、図 2 は遊技板 ユニット を裏側から見た斜視図、図 3 はパチンコ機の正面図である。

【0008】

パチンコ機 P は、四角く枠組みした外枠 8 と、その外枠 8 前面に回転自在に蝶着した前枠 7 とで概略構成されており、前記前枠 7 に遊技板 ユニット 1 と機構板 20 及びその他殆どの部品が取り付けられている。前記前枠 7 は、四角い窓穴 9 を有する額縁形状であって、図 1 に示したように、窓穴 9 の周縁を囲うように遊技板取付枠 10 が裏側に設けられており、該遊技板取付枠 10 に設けた公知の回転型クランプ 11 で遊技板 ユニット 1 の周縁を締め付けて固定する。

【0009】

一方、遊技板 ユニット 1 は合成樹脂製であって、図 2 に示すように、裏側が硬質塩化ビニル低発泡樹脂からなる発泡樹脂層 12 で、表側が透明な非晶性ポリエステル樹脂からなる透明樹脂層 13 であり、両層 12, 13 のトータル厚みを通常の遊技板とほぼ同程度に設定してある。透明樹脂層 13 を構成する非晶性ポリエステル樹脂は障害釘 5, 5…や風車 6, 6…などを打ち込んでも割れない特質があり、従来のベニヤ板に似た性質を有する。また、透明樹脂層 13 の厚みは障害釘 5, 5…の打ち込み深さより若干大きく設定してある。従って、釘打ち箇所をポンチで刻印して障害釘 5, 5…や風車 6, 6…を打ち込むなど、従来通りの方法で遊技板 ユニット 1 を作ることができ、且つ、日常の釘調整も可能である。

【0010】

発泡樹脂層 12 を構成する低発泡樹脂は、金型成形が可能で加工性がよく、しかも前記透明樹脂層 13 と同様にベニヤ板に似た性質を有する。従って、遊技板 ユニット 1 の裏面に、例えば、配線用の溝 14 (図 2 参照) や他の部品 (入賞球集合カバー 21 など) の取付台、或いは入賞球の案内樋などを一体成形する、といった複雑な加工が可能であり、また、木ネジや釘などを自由にねじ込み又は打ち込むことができる。この発泡樹脂層 12 には、後述する遊技領域 1a をほぼ横断する横長長方形の窓穴 12a が形成されており、該窓穴 12a に液晶の遊技用表示パネル 2 が嵌合している。窓穴 12a は発泡樹脂層 12 を貫通して透明樹脂層 13 にまで達するものであり、遊技用表示パネル 2 が遊技板 ユニット 1 の正面から透けて見える。また、遊技用表示パネル 2 は、遊技用制御装置 (図示せず) に接続されている駆動部 (図示せず) に前記配線用の溝 14 に通したリード線で接続されていて遊技内容に関連する数字や図柄を可視表示する。表示色は一色でも多色でもよい。

【0011】

なお、遊技板 ユニット 1 の裏面には前記入賞球集合カバー 21 が被せられていて入賞球の通路 22 が設けられているから、遊技用表示パネル 2 が遊技板 ユニット 1 の裏面に出張すると通路 22 の障害となる。従って、遊技用表示パネル 2 はバックライトが不要な反射型か或いはエッジライト方式の液晶にする方が薄型化できて都合がよい。しかし、バックライトのない液晶などではカラー表示が難しいなど機能上の制約が多いため、バックライト付きの液晶を採用したい場合がある。そのような場合には、図 2 のように遊技用表示パネル 2 の後面上縁にテーパ部 2a を設けて入賞球が遊技用表示パネル 2 を乗り越えて流れるようにしておけばよい。もちろん入賞球集合カバー 21 も遊技用表示パネル 2 に合わせた形状にして入賞球の通路 22 を確保する必要がある。もっとも、遊技用表示パネル 2 の表示サイズが従来の変動表示装置 3 と同程度の小さなものであるなら入賞球集合カバー 21 の両サイドに入賞球の通路 22 が確保できるだけのスペースが十分あるため出っ張りの大きさを問題にすることはない。

【0012】

而して、遊技板 ユニット 1 の正面には従来の遊技板と同様にガイドレール 15 でほぼ円形の遊技領域 1a が形成されていて、該遊技領域 1a 内に入賞口 4 や多数の障害釘 5, 5…或いは風車 6, 6…などが取り付けられている。入賞口 4 の取付位置にはパチンコ球を導くための通孔 16 が透明樹脂層 13 と発泡樹脂層 12 を貫くように形成されている。該通孔 16 は透明樹脂層 13 と発泡樹脂層 12 を結合させた状態で穿設するか、或いは、両

10

20

30

40

50

者を結合する前に夫々に加工して後に合致させるようにしてもよい。後者の場合、発泡樹脂層 1 2 は、金型成型時に通孔 1 6 を加工することができる。なお、遊技板 ユニット 1 のアウト球口 1 7 や賞球排出口 1 8 も同様である。

【0013】

図 3 に示したパチンコ機 P は、遊技用表示パネル 2 の前面にある透明樹脂層 1 3 に障害釘 5, 5 … と風車 6, 6 … が打ち込んであり、遊技用表示パネル 2 の前面が全てパチンコ球の流路 R になっている。なお、図 3 では全ての入賞口 4 を遊技用表示パネル 2 の外周囲に設けてあるが、後述する図 4 のように遊技用表示パネル 2 に前記通孔 1 6 を設けてそこに入賞口 4 を設置することもできる。そしてそのようにすれば遊技用表示パネル 2 で遊技領域 1 a の全てをカバーすることができ、壮大なスケールで遊技が可能になる。例えば、馬のキャラクターを使って競争させる競馬ゲームのような場合、遊技領域 1 a のガイドレール 1 5 沿いに馬のキャラクターを移動させれば、従来の遊技より遥かに迫力が増す。また、複数の数字や図柄を組み合わせるスロットマシンタイプのゲームでも遊技領域 1 a の全面を使用すれば表示が大きくなって見易くしかも迫力が出る。

10

【0014】

以上、本発明を実施例について説明したが、もちろん本発明は上記実施例に限定されるものではない。例えば、実施例では遊技用表示パネル 2 として液晶を例示したが、それ以外にも LED、通常のブラウン管、プラズマディスプレイなど、数字や図柄を平面上で視覚的に変化させる機能があればどのようなものでもよい。

また、実施例は透明樹脂層 1 3 と発泡樹脂層 1 2 を同形状にして両者を接合するようにしたが、例えば図 4 に示したように発泡樹脂層 1 2 を遊技板 ユニット 1 の厚みに形成し、該発泡樹脂層 1 2 の前面に凹部 1 9 を設けてそこに透明樹脂層 1 3 を嵌め込むようにしてもよい。

20

【0015】

ところで、本発明と同じ目的を達成するための技術的手段として変動表示装置 3 0 0 自体を図 5 のようにしてもよい。すなわち、障害釘 5 の打ち込みが可能な性質と厚みを有する透明樹脂板 1 3 0 で表示用窓部 3 0 1 を覆うようにしてなることを特徴とするパチンコ機の変動表示装置、とする。前記透明樹脂板 1 3 0 は上記の透明樹脂層 1 3 と同じ材質の合成樹脂である。また、表示用窓部 3 0 1 とは、変動表示装置 3 0 0 の遊技用表示パネル 2 0 0 の前面に対応する空間である。その他図 5 中、符号 3 0 2 は変動表示装置 3 0 0 の取付基板、3 0 3 は該取付基板 3 0 2 の裏側に突設した裏カバーである。

30

【0016】

而して、上記のように変動表示装置 3 0 0 の表示用窓部 3 0 1 を前記透明樹脂板 1 3 0 で覆うようにすれば、該表示用窓部 3 0 1 に障害釘 5, 5 … を打ち込んだり風車 6, 6 … を設けることができるため、本発明と同様に数字や図柄の表示サイズを大型化することができ、また、表示サイズを大型化しない場合でもパチンコ球の流路に従来にない変化を持たせることが可能になる効果がある。そしてさらに、この変動表示装置 3 0 0 はベニヤ製の遊技板 ユニット 1 0 0 にも適用できる有用性がある。

【0017】

【発明の効果】

40

透明領域の正面側に複数の障害釘を打ち込むことにより遊技用表示パネルの前面にパチンコ球の流路が確保できる。従って、遊技用表示パネルの大型化が可能である。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 パチンコ機の横断平面図である。

【図 2】 遊技板 ユニット を裏側から見た斜視図である。

【図 3】 パチンコ機の正面図である。

【図 4】 他の実施例を示す遊技板 ユニット の斜視図である。

【図 5】 変動表示装置を示す要部の横断平面図である。

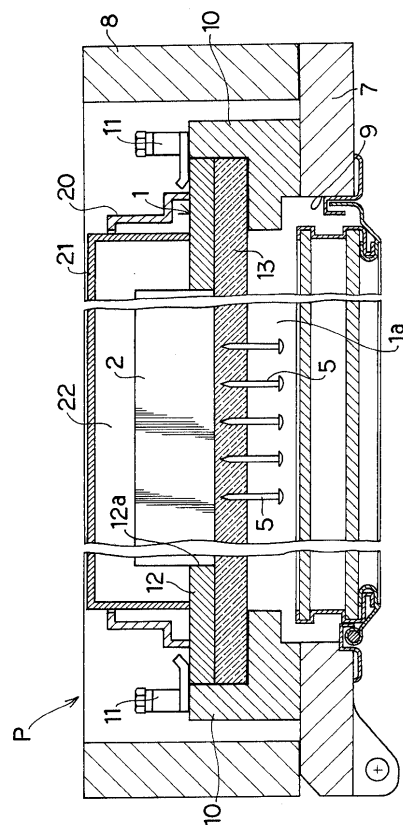
【図 6】 従来技術を示すパチンコ機の正面図である。

【符号の説明】

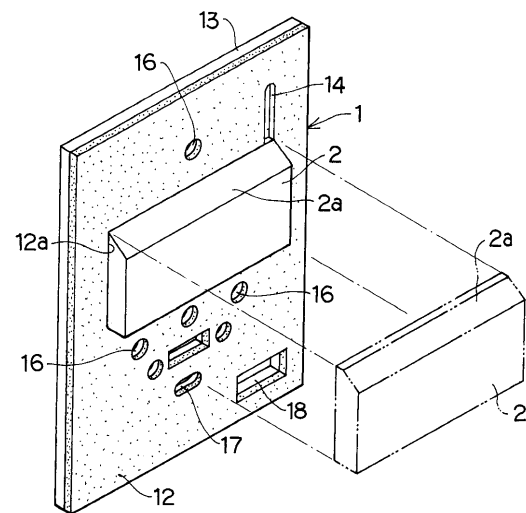
50

- 1 …遊技板ユニット
- 1 a …遊技領域
- 2 …遊技用表示パネル
- 4 …入賞口
- 5, 5 …障害釘
- 7 …前枠
- 8 …外枠
- 1 5 …ガイドレール
- 1 6 …通孔
- 1 7 …アウト球口
- P …パチンコ機

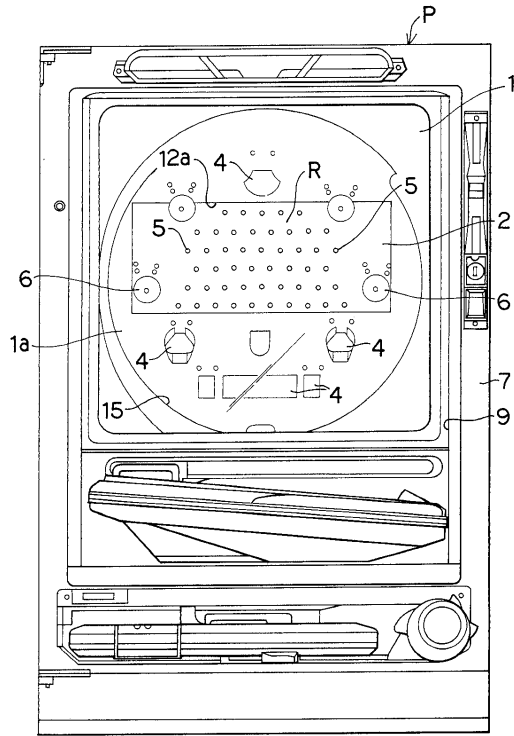
【図 1】



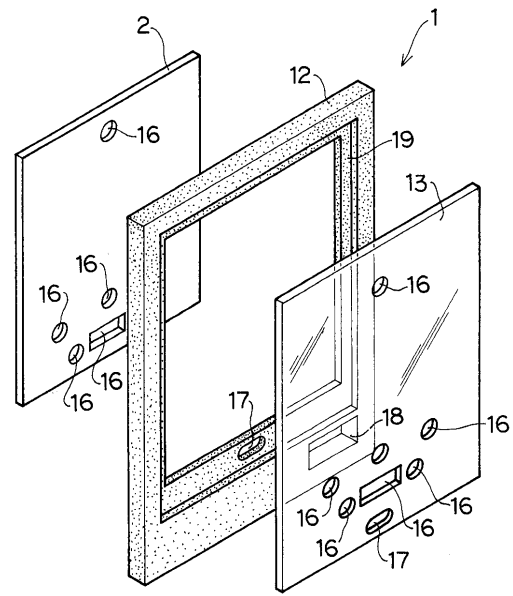
【図 2】



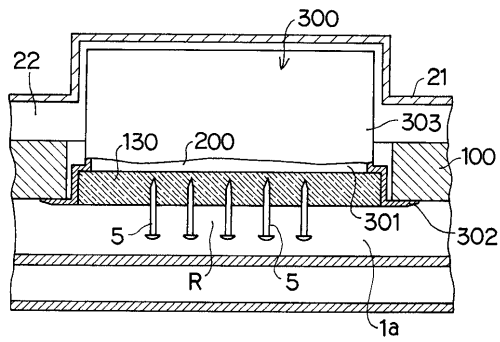
【図 3】



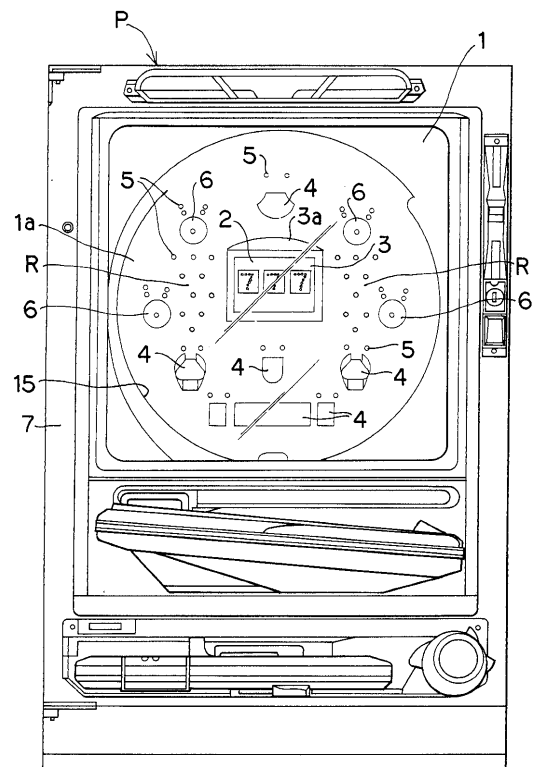
【図 4】



【図 5】



【図 6】



フロントページの続き

- (56)参考文献 特開昭63-021122 (JP, A)
特開平07-185074 (JP, A)
特開平07-000454 (JP, A)
特開平05-086277 (JP, A)
特開平05-003946 (JP, A)
特開平04-354961 (JP, A)
特開平03-128077 (JP, A)
実公昭49-004298 (JP, Y1)

- (58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
A63F 7/02